

# 令和3年度 装飾古墳館・菊文研講座

- 前期日程及び講座概要（会場：装飾古墳館集団学習室 時間：午後1時30分～3時）  
先着50名で募集中！ ご希望の講座をお選びください。

	期 日	演 題	講 師
1	7月4日(日)	黄泉の国への道標Ⅰ（九州編） —古代人が刻んだ死生観—	県立装飾古墳館 学芸課長 坂口圭太郎
2	7月18日(日)	いにしへの蓮の装飾 —蓮華文の系譜—	県立装飾古墳館 主任学芸員 三木ますみ
3	8月1日(日)	熊本藩の治水・利水事業と手永・惣庄屋制 —白川流域を中心に—	熊本大学永青文庫研究センター 准教授 今村 直樹
4	8月29日(日)	黄泉の国への道標Ⅱ（本州編） —海を渡る古代人の想い—	県立装飾古墳館 学芸課長 坂口圭太郎
5	9月5日(日)	戦史が語る平和への思い —平和への誓約・日豪を結ぶ絆と運命—	県立装飾古墳館 文化財保護主事 牛島 克彦

※第1回講座を受講された方には、令和元年度企画展Ⅲ「八代海周辺の装飾古墳—刻まれた文様の系譜—」展示図録（限定50部）を進呈します。

- 中期講座 9月から12月にかけて6回を予定 会場：鞠智城研修施設  
8月中旬から募集開始予定！会員の皆さまには御案内をお送りします。

6	9月	周辺遺跡から鞠智城を考える	温故創生館
7	10月	鞠智城Ⅲ期を考える—9世紀代の菊池川水運と上小田宮の前遺跡—	温故創生館
8	10月	土器から見た古代山城（仮題）	交渉中
9	10月	古文書から読み取る近世における庶民の暮らし（仮題）	交渉中
10	11月	太宰府の外郭と交通路（仮題）	筑紫野市教育委員会
11	12月	民俗学から見た災害史（仮題）	交渉中

- 後期講座 12月から3月にかけて5回を予定 会場：鞠智城研修施設  
11月中旬から募集開始予定！会員の皆さまには御案内をお送りします。

12	12月	鞠智城造営に関わった人達（仮題）	温故創生館
13	1月	鞠智城の歴史的環境—山鹿市を中心に—（仮題）	山鹿市教育委員会
14	2月	玉名地域の文化財（仮題）	玉名市教育委員会
15	2月	鞠智城研究の展望（仮題）	県立装飾古墳館長
16	3月	装飾古墳館・温故創生館が目指すもの（仮題）	県立装飾古墳館長